



5

生涯学習部門計画



学びにより充実した人生を送ることができま

政策	基本施策	施策
<p>学びにより充実した人生を送ることができま</p> <p>(p212)</p>	<p>5-1</p> <p>生き生きと学習できる教育基盤の充実 (p214)</p>	<p>5-1-1 居心地の良い教育環境の充実 (p216)</p> <p>5-1-2 安全安心な教育施設の整備 (p218)</p>
	<p>5-2</p> <p>「生きる力」を育てる学校教育の充実 (p220)</p>	<p>5-2-1 確かな学力を育む教育の推進 (p222)</p> <p>5-2-2 豊かな人間性や社会性の育成 (p224)</p> <p>5-2-3 健康・安全活動の支援 (p226)</p>
	<p>5-3</p> <p>学校給食による望ましい食習慣の実現 (p228)</p>	<p>5-3-1 安全安心な学校給食の提供と食育の推進 (p230)</p>
	<p>5-4</p> <p>生きがいを持てる学びの環境の構築 (p232)</p>	<p>5-4-1 学びによる生活の質の向上 (p234)</p> <p>5-4-2 スポーツによる健康づくりの推進 (p236)</p>
	<p>5-5</p> <p>学びの環境の充実と文化芸術の継承 (p238)</p>	<p>5-5-1 学べる・活かせる環境づくり (p240)</p> <p>5-5-2 文化芸術の振興 (p242)</p>

市民環境部門計画

健康福祉部門計画

経済産業部門計画

都市基盤部門計画

生涯学習部門計画

政策支援部門計画

政策

基本施策

施策

5 生涯学習部門

総合計画基本構想に掲げるまちづくりの「視点」との関係

● 特にこの部門に関連する視点：**学ぶ** **受け継ぐ**

(1) この部門の目指す4年後のまち

Vision

学びにより充実した人生を送ることができるまち

【設定期由】

全ての世代が学びによる幸福感を育めるよう、生涯にわたって学びあい、学んだことを生かせるとともに、伝統文化・芸術を次世代に継承し、ふるさとに愛着を持つことで、生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができるまちを目指します。

(2) この部門が4年間で取り組むこと

Mission

市民の活力を生かした、市民が求める学びの展開と支援

【設定期由】

学んだことを生かし受け継いでいくことにより、地域が人を育て人が地域をつくる社会を形成していくため、市民や関係団体、地域の活力を生かし、市民が求める学びの展開と支援をすすめます。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

基準値	目標値
平成30年把握値 58.4%	令和4年値 58.4%以上

【設定理由】

学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育むことは、みんなで学び、共に育っていくまちづくりにつながります。この指標が伸びていくことは、地域が人を育て人が地域をつくる社会の形成につながると考え、「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合

基準値	目標値
平成30年把握値 16.7%	令和4年値 25.0%

【設定理由】

学んだ成果を披露したり生かしたりすることは、地域での人材育成や新たな価値の発見・創出につながっていくと考え、「趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

国の第3期教育振興基本計画や第2期スポーツ基本計画、第1期文化芸術推進基本計画などに基づき総合的に教育政策の展開をしていく必要があります。また、いじめや不登校、発達障がいなど子どもたちに関する課題や地域課題の複雑化・多様化への対応が必要です。

【内部環境分析】

滝沢中央小学校や新図書館等の整備が完了しました。また各小中学校には地域と連携・協働した学校運営を一層推進して、地域及び学校の教育力を高めるため学校教育振興協議会が設置されました。このような関係団体や地域との学びの推進体制を強みとして捉え、市民の活力を生かし、教育課題や地域課題を解決するための学びの機会が必要です。

政策

基本施策

施策

生涯学習部門

5-1 生き生きと学習できる教育基盤の充実

この基本施策の所管: **教育委員会 教育総務課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **自ら学んだり、取り組める環境がある**

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

生き生きと学習できる教育基盤の充実

【設定理由】

前期においては、滝沢中央小学校を開校し、大規模校を解消することで教育環境の改善を行ったところです。後期においては、既存の学校施設の修繕や長寿命化を図るなど維持管理に努め、子どもたちが生き生きと学習できる、居心地の良い、安全・安心な教育基盤の一層の充実を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

学校施設の長寿命化を図るとともに学校の適正規模の在り方を検討

【設定理由】

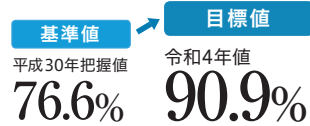
児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であることや、災害時には避難場所となることから、既存施設の環境改善や長寿命化を図るなど必要な整備を行います。あわせて、少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ中長期的な展望のもとに学校の適正規模の在り方を検討します。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

学校トイレの環境改善率



【設定理由】

児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であることや、災害時には避難場所となることから、既存施設の環境改善や長寿命化を図るなど必要な整備を行います。あわせて、少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ中長期的な展望のもとに小規模校の在り方を検討します。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合



【設定理由】

学校での学習、児童会・生徒会活動やクラブ・部活動など、個性を発揮して活躍できる機会に恵まれていることが大切であることから「子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

- ・国の第3期教育振興基本計画や新学習指導要領などに基づく教育政策の展開が求められています。
- ・学校の施設・設備の老朽化への対応(長寿命化)が全国的課題となっています。
- ・人口減少・少子化に伴い今後児童生徒数が減少する傾向にあります。

【内部環境分析】

- ・少子化による児童生徒数の減少傾向を適切にとらえ、地域の実情を踏まえた適正な学校規模の在り方についての検討が必要です。
- ・市公共施設等総合管理計画の学校施設の長寿命化計画(個別計画)を策定し、国庫補助金の活用を見据えた長寿命化が必要です。

政策

基本施策

施策

5-1 生き生きと学習できる教育基盤の充実

5-1-1 居心地の良い教育環境の充実

この基本施策の所管: **教育委員会 教育総務課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **自ら学んだり、取り組める環境がある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 学校の適正規模の在り方などについての検討
- ◆ 経済的に困窮している世帯への支援による就学機会の確保
- ◆ 学校のICT（情報通信技術）化に向けた環境整備
- ◆ 教員の安全と健康の確保のために学校衛生委員会を開催



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

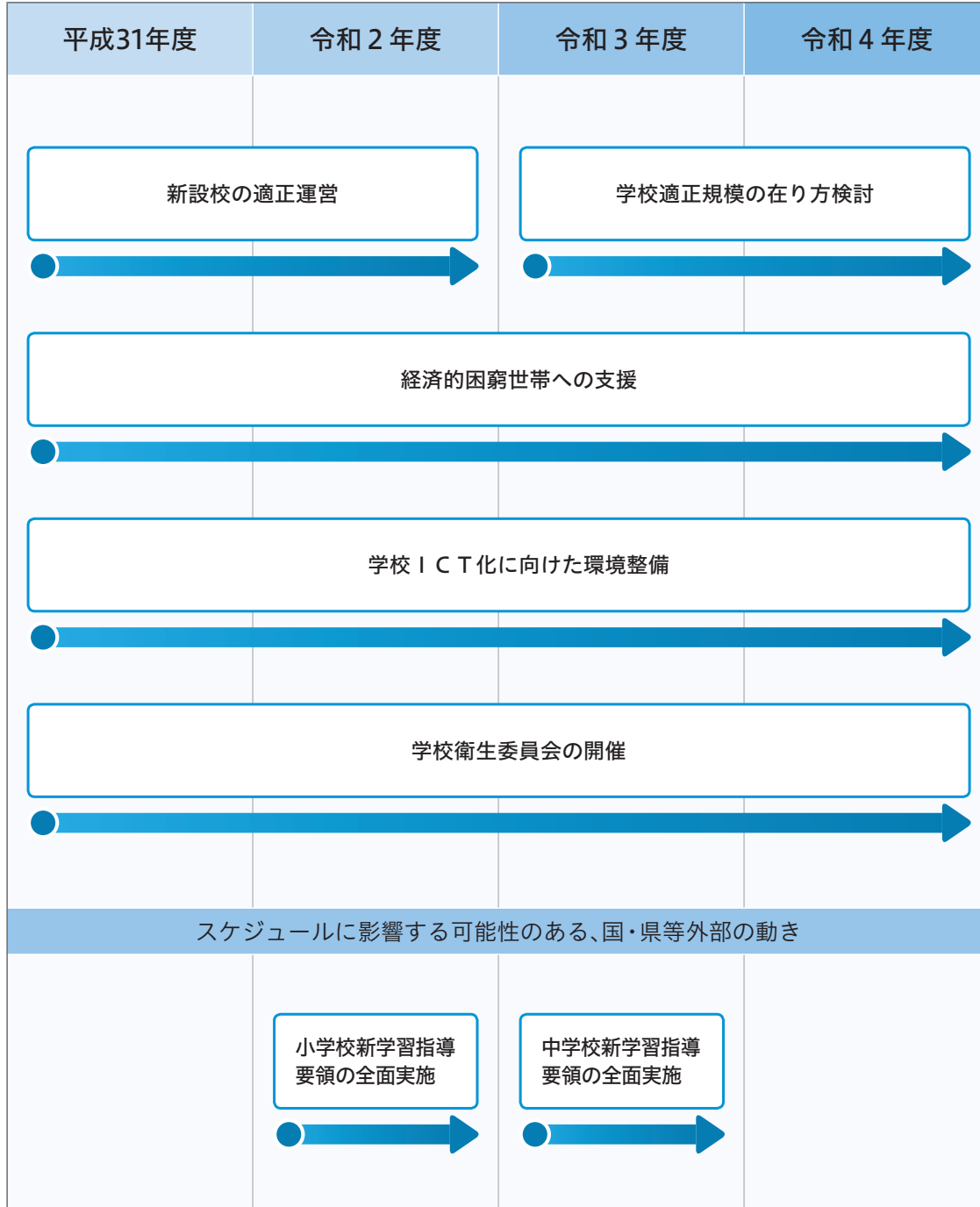
基準値	目標値
平成30年把握値 58.4%	令和4年値 58.4%以上

【設定理由】

学校での学習、児童会・生徒会活動やクラブ・部活動など、個性を発揮して活躍できる機会に恵まれていることが大切であることから、「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合」を指標としました。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

5-1 生き生きと学習できる教育基盤の充実

5-1-2 安全安心な教育施設の整備

この基本施策の所管: **教育委員会 教育総務課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **自ら学んだり、取り組める環境がある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 学校教育施設の総合かつ計画的な管理のために個別施設計画を策定
- ◆ 普通教室等へ空調設備を設置
- ◆ 鶉飼小学校の屋根、外壁等の改修を実施
- ◆ 学校トイレの洋式化の促進
- ◆ 既存施設の適切な維持管理を実施



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

学校トイレの環境改善率

基準値

平成30年把握値

76.6%

目標値

令和4年値


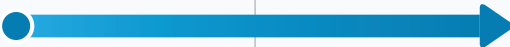
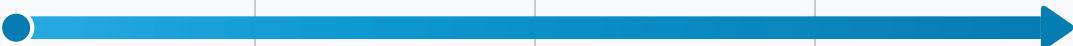
90.9%

【設定理由】

学校施設は児童生徒の学習・生活の場であり、そのうち学校トイレの環境改善は、保健衛生上、指導・管理上欠かせないものであるとともに、対策が望まれていることから学校トイレの洋式化を目指す「学校トイレの環境改善率」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 空調設備の設置 工事の実施 </div> 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 改修工事の実施(鶉飼小) </div> 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学校トイレの洋式化の促進 </div> 			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

生涯学習部門

5-2 「生きる力」を育てる学校教育の充実

この基本施策の所管: **教育委員会 学校教育指導課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **子ども達の体力・学力が向上する**

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

「生きる力」を育てる学校教育の充実

【設定理由】

子ども達が、情報化やグローバル化の進展等、変化の激しい社会で生きていくためには、その変化に対応し、自ら未来を切り拓いていく資質・能力を育成する必要があります。そのために、学習指導要領の趣旨を踏まえ、知・徳・体を総合的に兼ね備えた「生きる力」を育てる学校教育の推進を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

「正義」と「信頼」の学校づくり

【設定理由】

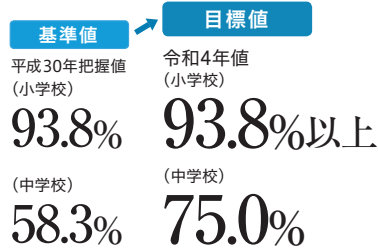
滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」を目指し、知・徳・体を総合的に兼ね備えた「生きる力」を育てるには、その基盤として子ども達が安心して生き生きと生活できるような学校づくりが必要です。そのために、「正義」が通る学校、地域から「信頼」される学校づくりに取り組むとともに、確かな学力を育む教育の推進、豊かな人間性や社会性の育成、健康・安全活動の支援の充実を図ります。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

学力テスト(NRT)で全国標準を上回った学校の割合



【設定理由】

「生きる力」の育成のためには、確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成が必要です。特に、「確かな学力」の育成は、学校教育が担う大きな役割の一つと考えます。学力テストの結果は、学力の全てを把握するものではありませんが、学力の重要な部分を表すものであることから、「学力テスト(NRT)で全国標準を上回った学校の割合」を指標としました。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合



【設定理由】

学校では、教科等の授業の他、学校行事、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動等が行われています。子ども達が個性を発揮し、活躍できる機会を作っていくことが、学校教育の充実につながります。そこで、子ども達にそのような機会があるかどうかを見る「子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

学習指導要領の改訂及び全面実施により、外国語教育や道徳教育の充実が求められています。また、大学入試改革等により、学力向上への市民の関心・要望が一層高まっていくことが予測されます。学力テストの活用や授業改善の在り方等について、各校の取組に対する適切な指導・支援が必要です。

【内部環境分析】

平成30年度全国学力・学習状況調査による滝沢市の児童生徒の状況では、生活リズムが確立しており、地域活動への参加が積極的である姿が見られる一方、家庭学習の時間や自己肯定感において全国より低い傾向があります。授業改善や家庭学習の充実により、子ども達に「わかった・できた」という思いをもたせていくことが必要です。

政策

基本施策

施策

5-2 「生きる力」を育てる学校教育の充実

5-2-1 確かな学力を育む教育の推進

この基本施策の所管: **教育委員会 学校教育指導課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **子ども達の体力・学力が向上する**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 学力テスト、知能検査の実施
- ◆ 授業力向上のための学校訪問、指導力向上支援の充実
- ◆ 家庭学習の充実と学習を支える生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の確立
- ◆ ラーニング・サポーターの派遣、学校司書の配置
- ◆ 小学校「外国語」教科化に係る学習環境の充実
- ◆ 滝沢のくらしや歴史を学ぶ社会科副読本の改訂



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

**学力テスト(NRT)で全国標準を上
回った学校の割合**

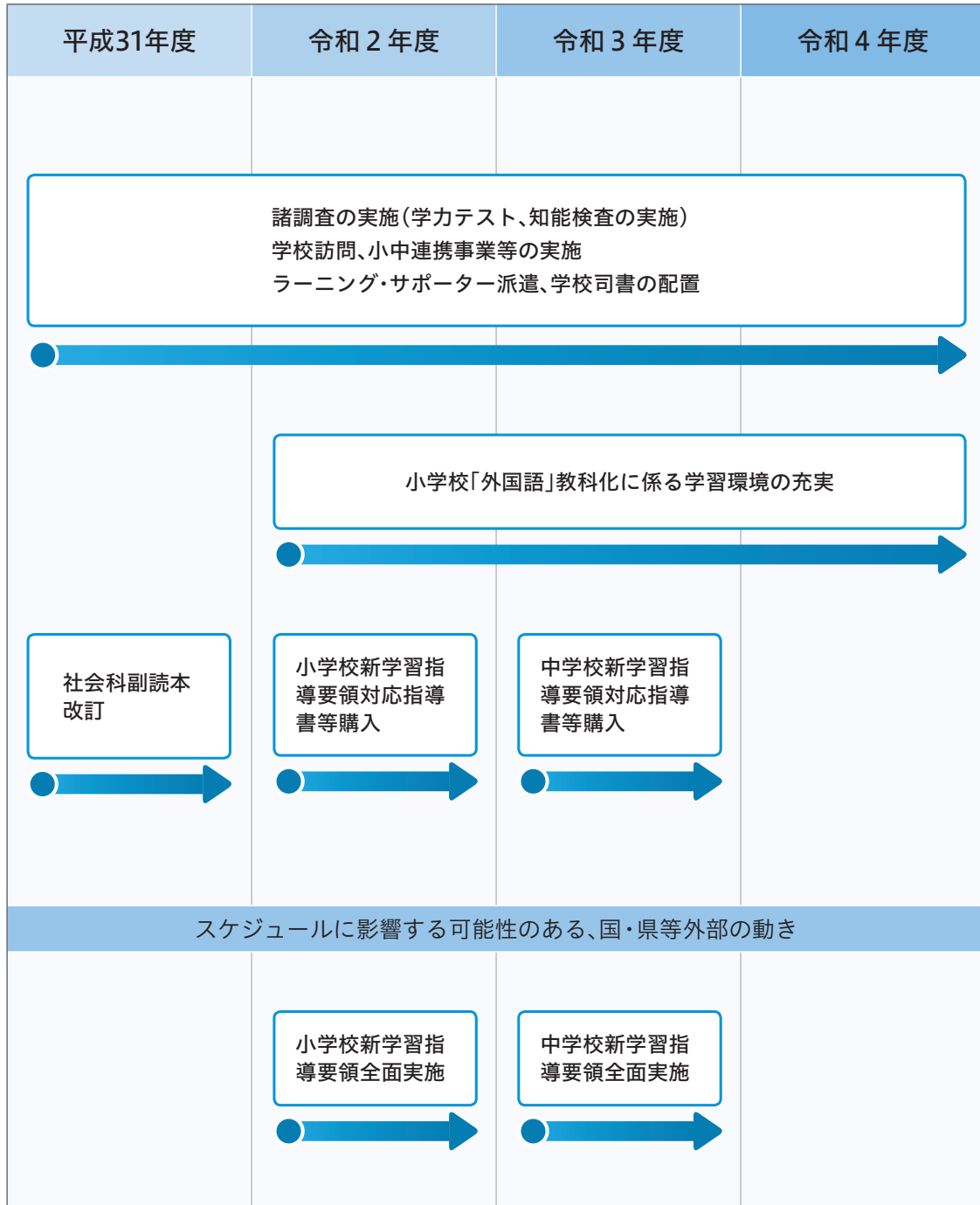
基準値	目標値
平成30年把握値 (小学校) 93.8%	令和4年値 (小学校) 93.8%以上
(中学校) 58.3%	(中学校) 75.0%

【設定理由】

滝沢市の学校教育目標である「明るく かしこく たくましい子ども」の「知=かしこく」にあたる「確かな学力」の実態を把握し、学力向上、指導力向上につなげる施策とするため、「学力テスト(NRT)で全国標準を上回った学校の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

5-2 「生きる力」を育てる学校教育の充実

5-2-2 豊かな人間性や社会性の育成

この基本施策の所管: **教育委員会 学校教育指導課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **子ども達が生き生きとしている**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 不登校、いじめ防止対策
- ◆ 学校教育専門員による教育相談、就学指導
- ◆ 体験的学習の充実（総合的な学習の時間、復興教育等）
- ◆ 特別支援教育支援員の配置
- ◆ 部活動支援員の配置



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

1年間無欠席の児童生徒の割合

基準値

平成30年把握値

41.2%

目標値

令和4年値

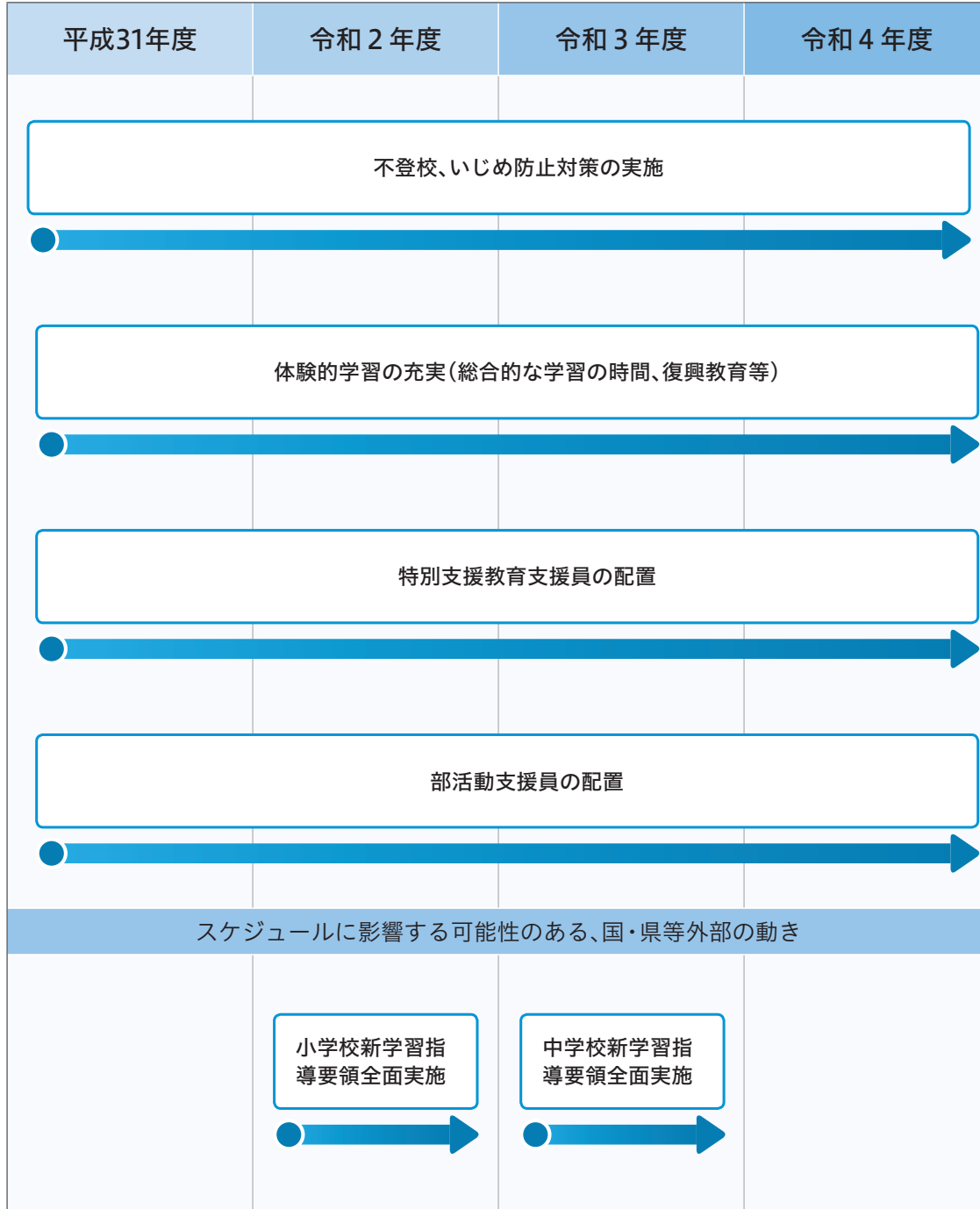
41.2%以上

【設定理由】

様々な体験活動やきめ細やかな教育支援をとおして、全ての児童生徒が身心共に健康で、学校を欠席することなく、学校生活の中で学習やクラブ・部活動等に希望や目標をもち、毎日生き生きと生活できるための施策とするため、「1年間無欠席の児童生徒の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

5-2 「生きる力」を育てる学校教育の充実

5-2-3 健康・安全活動の支援

この基本施策の所管: **教育委員会 学校教育指導課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **子ども達が不安なく暮らせる**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 児童生徒の健康診断、学校環境衛生検査の実施
- ◆ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置
- ◆ 災害共済加入に係る負担金及び掛金の補助の実施
- ◆ スクールガード配置による児童生徒の安全対策



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

**子ども達が不安なく暮らせると感じて
いる人の割合**

基準値	目標値
平成30年把握値 33.2%	令和4年値 50.0%

【設定理由】

健康、環境、交通安全など、安全・安心な学校生活が保障され、子ども達が不安なく、生き生きと生活できるための施策とするため、「子ども達が不安なく暮らせていると感じている人の割合」を指標としました。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
各種健康診断、衛生検査等の実施			
●————→			
学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置			
●————→			
児童生徒の安全対策の推進			
●————→			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

生涯学習部門

5-3

学校給食による望ましい食習慣の実現

この基本施策の所管: **教育委員会 学校給食センター**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **地域と学校との間で交流がある**

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

学校給食による望ましい食習慣の実現

【設定理由】

児童生徒が心身ともに健全に発達するため、引き続き地産地消を推進した安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに、食の指導の充実を図り、望ましい食習慣の理解と実践の支援など、食育の推進を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

施設設備等の計画的な改修整備及び調理等業務の民間委託の継続

【設定理由】

安全安心で魅力ある給食を継続して提供するために、計画的な施設設備等の改修整備を行います。また、調理等業務委託が令和3年度で契約期間満了を迎えることから、改めて契約を行い継続した安全安心な学校給食を提供します。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

学校給食食材生産供給組合からの 年間納入量



【設定理由】

安全で新鮮な給食食材である市内農家からの地場産品の納入量を表す「学校給食食材生産供給組合からの年間納入量」を指標としました。
また合わせて、後期基本計画では市内産使用割合も参考指標とします。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

家族と一緒に食事する回数(1週間)



【設定理由】

将来にわたって健康で幸福に生活していくためには、家族で良好な食習慣を実践していくことが重要であると考え、「家族と一緒に食事をする回数(1週間)」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

岩手県が脳卒中死亡率全国ワースト1位であること、また近年、核家族化や朝食欠食、孤食などにより、家庭での子どもたちの「食」のバランスがくずれてきていることから、普段から家庭において、減塩対策や、食生活・食習慣の改善が求められてきています。

【内部環境分析】

給食センター施設設備等の老朽化による改修コストが増大となっており、長寿命化及び更新計画による維持修繕・改修が喫緊の課題となっています。

政策

基本施策

施策

5-3 学校給食による望ましい食習慣の実現

5-3-1 安全安心な学校給食の提供と食育の推進

この基本施策の所管: **教育委員会 学校給食センター**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **地域と学校の間で交流がある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 給食食材への地場製品の活用
- ◆ 望ましい食習慣形成のため、児童生徒への食に関する指導の実施
- ◆ 給食センター施設設備等の改修整備
- ◆ 調理等業務の民間委託継続



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

**学校給食食材生産供給組合からの年間
納入量**

基準値

平成30年把握値

9,588kg

目標値

令和4年値

10,000kg

【設定理由】

安全で新鮮な給食食材である市内農家からの地場製品の納入量を表す「学校給食食材生産供給組合からの年間納入量」を指標としました。

また合わせて、後期基本計画では市内産使用割合も参考指標とします。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学校給食への地場産品の活用 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学校と連携した食に関する指導の実施 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 給食センターの施設設備等の改修 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 調理等業務委託契約の更新 </div>			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

生涯学習部門

5-4 生きがいを持てる学びの環境の構築

この基本施策の所管: **教育委員会 生涯学習スポーツ課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **自ら学んだり、取り組める環境がある**

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

生きがいを持てる学びの環境の構築

【設定理由】

「地域が人を育て、人が地域をつくる好循環」と「学びと活躍が結ぶ人と人とのつながり」づくりを促進し、生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができる学びの環境の構築を目指します。

学びによる生活の質（QOL：クオリティ・オブ・ライフ）の向上とスポーツによる健康づくりの推進で実感できる「感動とよろこび、幸福感」の次世代継承や「人・つながり・地域づくり」を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

地域課題や教育課題を解決できる 「人・つながり・地域づくり」

【設定理由】

第1次滝沢市生涯学習推進計画学びプランたきざわ後期基本計画に基づく市長部局と教育委員会が連携強化した全庁規模による推進施策を展開します。

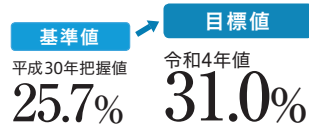
そして、社会環境の変化に伴い複雑化・多様化する地域課題や教育課題を解決できる「人・つながり・地域づくり」を推進します。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合



【設定理由】

子どもから高齢者まで全ての世代の皆さんが、「いつでも、どこでも、誰でも」学び、活躍し、生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができる滝沢市を目指すことから「趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合」を指標としました。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合



【設定理由】

社会環境の変化に伴い地域課題や教育課題の複雑化・多様化が進んでいます。「地域が人を育て、人が地域をつくる好循環」と「学びと活躍が結ぶ人と人とのつながり」づくりを通じた地域課題や教育課題の解決を図るため、「身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

文部科学省総合教育政策局の新設を通じた総合教育政策の推進体制の構築が図られました。また、文部科学省とスポーツ庁、文化庁、内閣府、関係府省庁との連携・協働で展開する生涯学習政策を通じた地球規模課題を解決できる「人・つながり・地域づくり」に取り組んでいます。

【内部環境分析】

複雑化・多様化する地域課題や教育課題を解決できる地域づくりや人づくりを目指した主体的・対話的で深い学びによる地域課題解決学習の全庁的な展開を図っています。また、スポーツによる健康づくりの推進を目指した全庁規模推進体制の構築が課題となっています。

政策

基本施策

施策

5-4 生きがいを持てる学びの環境の構築

5-4-1 学びによる生活の質の向上

この基本施策の所管: **教育委員会 生涯学習スポーツ課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **地域の中に支え合う仕組みがある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

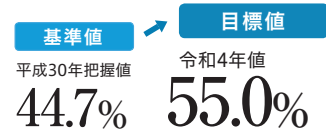
- ◆ 生涯学習推進計画学びプランたきざわ後期基本計画の展開と次期計画策定
- ◆ 関連施設の活用と学びの情報共有の促進
- ◆ 全庁規模による地域課題解決学習の展開
- ◆ 地域学校協働活動（教育振興運動と学校教育振興協議会など）の展開
- ◆ ネットワーク型社会教育行政（教育委員会と市長部局、小中学校、高校、大学、企業、NPO、地域との連携・協働）の展開
- ◆ 青少年教育・青少年対策や国際理解・国際交流、家庭教育支援の充実



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市と思っている人の割合

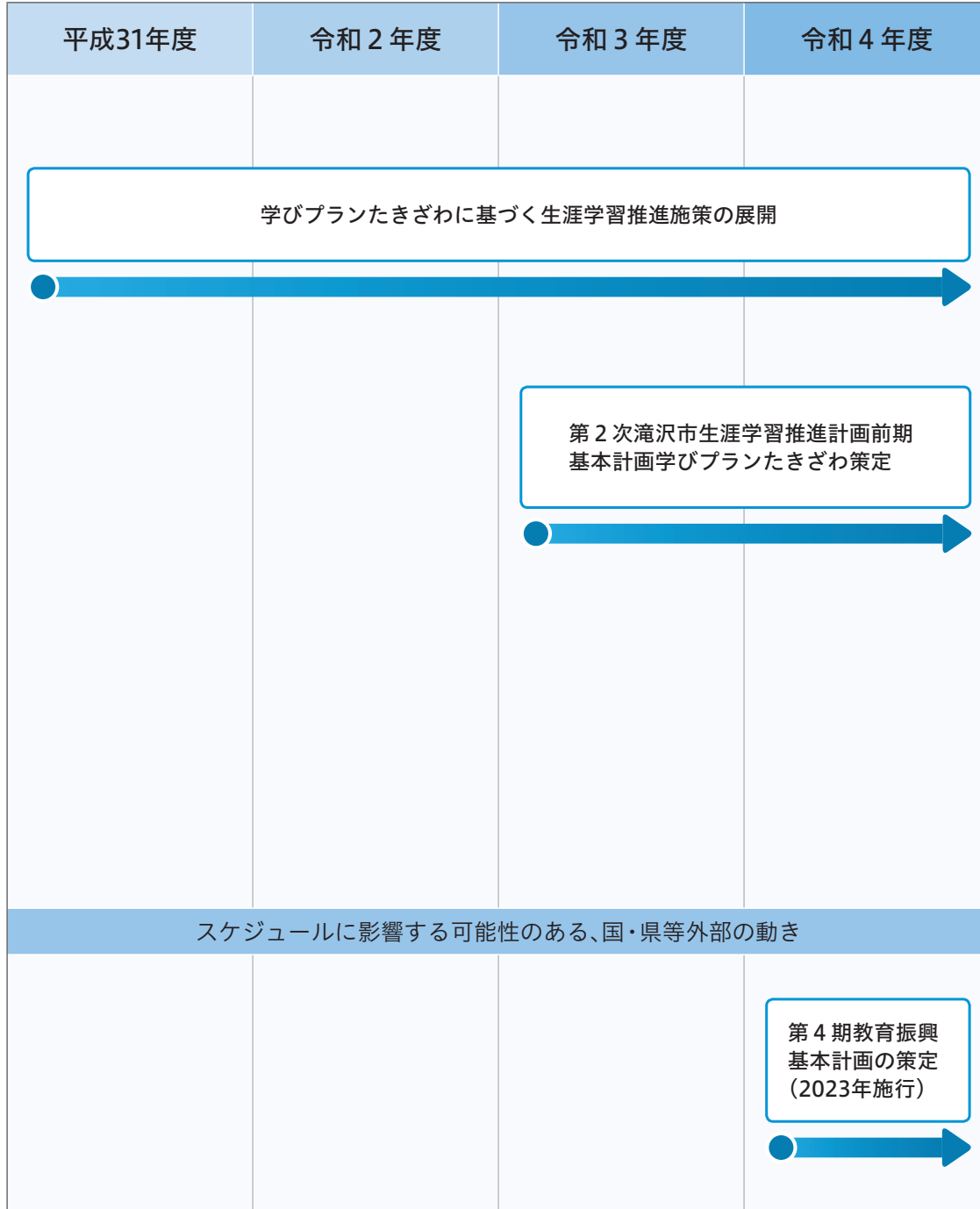


【設定理由】

複雑化・多様化する地域課題や教育課題の解決を目指した地域課題解決学習を通じた「人・つながり・地域づくり」を図るため「滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市と思っている人の割合」を指標としました。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

5-4 生きがいを持てる学びの環境の構築

5-4-2 スポーツによる健康づくりの推進

この基本施策の所管: **教育委員会 生涯学習スポーツ課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **地域や世代を超えて市全体がつながっている**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 生涯スポーツの推進（参画人口の拡大や健康増進）
- ◆ スポーツによる人づくりと地域活性化（多様な人づくりやスポーツツーリズム）
- ◆ 学校と地域の連携・協働
- ◆ スポーツ共生社会の実現（障がい者・高齢者スポーツの推進や女性活躍の促進）
- ◆ 施設の利用促進
- ◆ 競技力の向上



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

基準値

平成30年把握値

1,804人

目標値

令和4年値

3,300人

【設定理由】

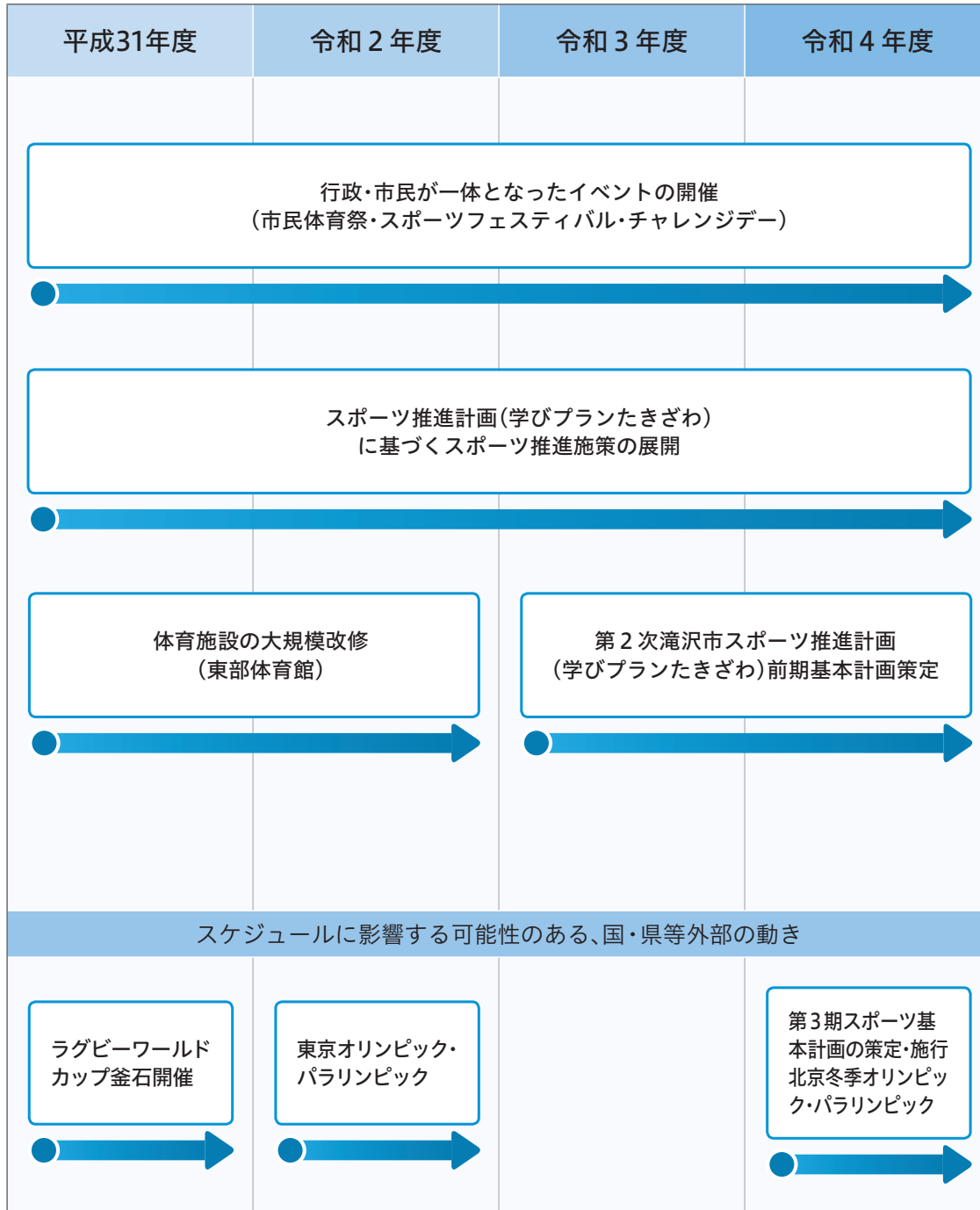
健康づくり推進施策（滝沢市健康づくり宣言）と連携し、子どもから高齢者まで全ての世代や初心者からアスリートまで全ての人々がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで参画交流・活躍し、「生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができる滝沢市」を目指すことから「市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数」を指標としました。

※参考 体育施設の利用者数（自ら学んだり、取り組める環境がある）

なお、平成26年把握値に基づき令和4年までの目標値を設定しましたが平成27年から算出方法を変更しました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

生涯学習部門

5-5 学びの環境の充実と文化芸術の継承

この基本施策の所管：教育委員会 文化振興課・湖山図書館・埋蔵文化財センター

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

●特にこの基本施策に関連する最適化条件：文化伝統や芸術に親しむ機会がある

(1) この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

学びの環境の充実と文化芸術の継承

【設定理由】

湖山図書館や埋蔵文化財センターなど学びの場としての文化施設の環境を整えるとともに、伝統文化や芸術を次世代へ継承します。また、郷土に愛着を持ち郷土理解を深め地域活動に活かす環境を構築することにより、一人一人が幸福感を得られる環境づくりの確立を目指します。

(2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

施設間等の連携による学べる環境整備と文化芸術活動の基盤の強化

【設定理由】

交流拠点複合施設内に湖山図書館が併設されていることもあり、市民の教養や調査研究など学びの支援を施設間等の連携を図りながら、学習機会・学習活動の場の提供に努めます。また、文化芸術団体や郷土芸能団体と情報共有して次世代へ引き継ぎ、若手の育成を展開するよう支援します。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの 入場者数

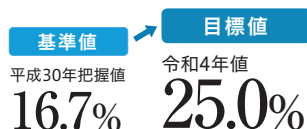


【設定理由】

芸能文化団体の活動の発表の場が、芸術祭と郷土芸能まつりであることから、「滝沢市芸術祭・滝沢市郷土芸能まつりの入場者数」を指標としました。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

趣味や特技を披露できる機会が地域に ある人の割合



【設定理由】

住民の多様な文化活動は、趣味と特技などが行える機会があることが必要なことから「趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

国の第3期教育振興基本計画や第1期文化芸術推進基本計画などにに基づき総合的に教育政策を展開していく必要があります。関係府省庁との連携・協働で目指す文化芸術政策の展開を通じた、文化芸術の創造・発展・継承と豊かな文化芸術教育の充実が求められています。

【内部環境分析】

ビッグルーフ滝沢がオープンし、交流の場として活用され、施設内に図書館が併設されていることもあり、学びによる地域づくりと人づくりの促進が求められています。また、芸術祭や郷土芸能まつりを通じた文化芸術振興に取り組んでおりますが、伝統文化や芸術の次世代への継承が求められています。

政策

基本施策

施策

5-5 学びの環境の充実と文化芸術の継承

5-5-1 学べる・活かせる環境づくり

この基本施策の所管: **教育委員会 湖山図書館**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **自ら学んだり、取り組める環境がある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

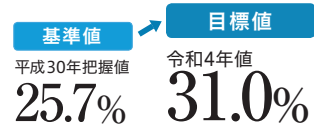
- ◆ 滝沢市を知るための郷土資料の充実
- ◆ 利用しやすい図書館を目指し図書館職員研修の強化
- ◆ 図書館利用促進をはかるため調査研究の補助（レファレンスサービス）の周知
- ◆ 複合交流施設との情報共有や事業連携による学べる環境の充実



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合



【設定理由】

未来と地域を担う人づくりのため、市民がいつでも、どこでも、だれでも学べる機会を創出し、世代や性別に関わらず学習・体験・交流の機会に参加できる環境づくりが必要となるため「趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
滝沢市を知るための郷土資料の充実			
●————→			
利用しやすい図書館を目指し図書館職員研修の強化			
●————→			
図書館利用促進をはかるため調査研究の補助(レファレンスサービス)の周知			
●————→			
複合交流施設との情報共有や事業連携による学べる環境の充実			
●————→			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

5-5 学びの環境の充実と文化芸術の継承

5-5-2 文化芸術の振興

この基本施策の所管: **教育委員会 文化振興課 埋蔵文化財センター**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **文化、伝統が受け継がれている** **文化、伝統や芸術に親しむ機会がある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 文化芸術関係団体や郷土芸能保存団体の基盤強化、活動支援
- ◆ 文化芸術、郷土芸能の鑑賞、発表機会の提供
- ◆ 埋蔵文化財や民俗資料の活用と学習機会の提供
- ◆ 指定文化財の掘り起し、保護、活用



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

**滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの
入場者数**

基準値	目標値
平成30年把握値 2,630人	令和4年値 2,630人以上

【設定理由】

芸術文化団体の活動の発表の場が、芸術祭と郷土芸能まつりであることから、「滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数」を指標としました。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
芸術祭の実行委員会 組織化の検討		実行委員会主催による 芸術祭開催の確立	
芸術文化協会事務局体制の検討 組織化の検討		芸術文化協会事務局体制の確立 芸術祭開催の確立	
指定文化財の掘り起し、保護、活用			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

